

腎臓専門医への CKD 重症化予防対策の周知

日本腎臓学会事務局より千葉県医療機関への勤務となっている腎臓専門医リスト（160 名分）を提供いただき、そのうちメールアドレスが登録されている腎臓専門医 138 名に 11 月 12 日に周知メール（11 月号の千葉県医師会雑誌の本対策に関する報告の校正前の文書 PDF も添付）を送付した。2 通不着の返信あり（いずれも順天堂浦安）。

また県内には腎臓学会認定教育施設が 24 あるが、今回の通知の中に 1 名も含まれていない病院として、栗山中央病院、小張総合病院、旭中央病院、下志津病院、みはま病院、船橋二和病院がある。旭中央病院については個別に通知済み。

また、千葉県内の日本腎臓学会専門医に向けて、日本腎臓学会理事長（兼任：日本腎臓病協会理事長）柏原直樹先生より協力依頼文書が出され、上記のメール送付時に添付した。

CKD シールの添付について

来年度はまず腎臓専門医施設（千葉大、帝京市原、成田日赤、聖隷佐倉、千葉東）及び薬局での貼付から徐々に開始していく。

千葉県 CKD 対策協力医の募集に向けて

1. 10 月 22 日に千葉県医師会の千葉県地区医師会長会議にて本対策および CKD 対策協力医募集について話し（今澤）、各医師会の医師会員への伝達を依頼
2. 11 月の千葉県医師会雑誌にて本対策および CKD 対策協力医募集記事掲載（配布済み）
3. 千葉県医師会 HP で登録募集開始（11 月 30 日現在まだ開始できておらず、ずれ込んでいる。2 月 28 日で来年度のリスト掲載〆切とする）
4. 応募促進リーフレットを 1 月の医師会雑誌に添付予定